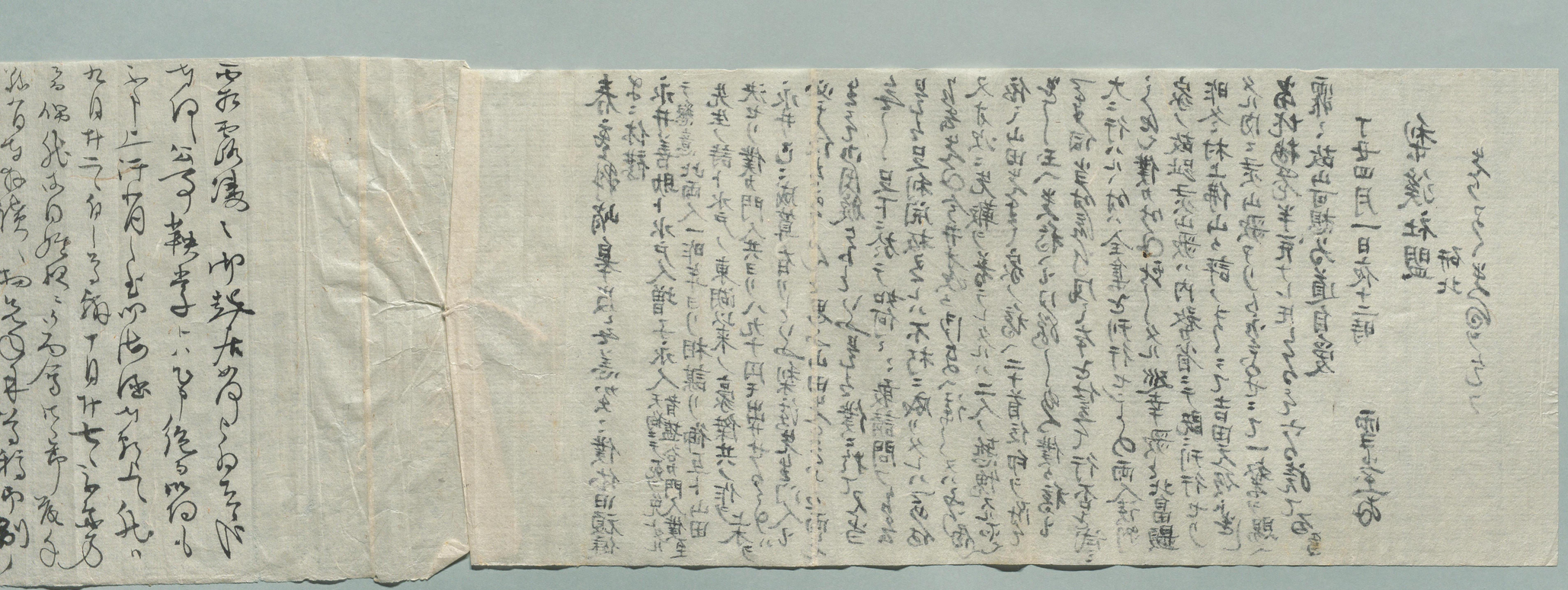
春寒料峭皐皮無恙かこ僕依旧頑健
まこ休襟
永井善助ト水戸人増子永人（天狗ニテ死ヲ免レタル者塩谷カ門人僕至テ懇意）此両人一昨年ヨリ相謀リ御互ト山田
先生ノ詩ト水戸ノ東湖以来ノ豪傑共ノ作ヲ上木ヲ
決セリ僕カ門人共ヨリ八九十円モ出サセタルヨリハ
永井已ニ成算有リといふ梨溪先生門人も
必ず信ゼるべしと思ふ山田先生ハ今ハ両先
生ニて小田縦ニ於ていふ是ハ僕ニ於て又当
無し足下ニ於テ如何ニ敢請問フ所云
是ハ足利開板ヨレハ不朽ニ成リタレハ一ツ何
ハ云先生ノ今井才次ニ御来ヘ誘ヒ又ハ安居
又才次ニ先鞭ヲ着ラレタルハ二人ノ慙愧スル所也
依ニ山田先生ニ家ノ稿ヘ二十首位印ヲ附て
送し玉ヘ先稿ハ日録しめん僕ノ稿も
一本同当付流行風ニ本を仕立て行否を試ニ
大ニ行ハルヽ時ハ全集を刊行セントの両人談判
ニ此ニ僕カ時ニ就しタル巡幸歌と北畠顕
家ノ故趾灵山歌ハ内務省ニテ既ニ刊行セリ
昨冬村上佛山ノ評ノまゝニて吉田元碩ニ送
タル内ニ灵山歌アリ以来ニ付せて一粲ヲ賜ヘ
当地梅花半発ナレ圧ヒ居るを六ヶ読て西雪
霏々故山可想為道自愛
丁丑四月一日夜十二時　雪堂
梨溪社盟
研北
先生ノ御ニ乞フ



国立国会図書館　宮島誠一郎関係文書（所蔵）2549

国立国会図書館　宮島誠一郎関係文書（所蔵）2549

国立国会図書館　宮島誠一郎関係文書（所蔵）2549

国立国会図書館　宮島誠一郎関係文書（所蔵）2549